



【学校教育目標】

自ら考え学習する生徒（自主）
心身ともに健康な生徒（剛健）
情操豊かな生徒（敬愛）

栃木市立寺尾中学校 TEL：31-0019
令和6年2月9日 校長 平山 裕

学校づくりスローガン 『だれ一人欠けてはならない大切な仲間 寺中丸』

学校評価保護者アンケート結果報告

昨年12月にご協力いただきました学校評価保護者アンケートの結果をご報告いたします。

○：肯定的評価（A評価+B評価） ▲：（C評価+D評価） 数字は%

	質問	○	▲
1	教職員は、子どもにわかりやすく、充実した授業を実践している。	97	3
2	教職員は、生徒一人一人を大切に授業を行っている。	94	6
3	お子様は、宿題や予習・復習など家庭学習をよくやっている。	74	26
4	お子様は、 楽しく学校生活 を送っている。	84	16
5	学校は、生徒のよいところを認め指導すべきところはしっかりと指導している。	94	6
6	お子様は、規則正しく食事し、好き嫌いなく食べている。	74	26
7	学校は、安全や健康の向上のための指導を適切に行っている。	97	3
8	お子様の学習や生活の様子は、たよりなどでわかりやすく伝わっている。	94	6
9	教職員の言動や態度 は、保護者との信頼関係を築くうえで満足ゆくものである。	87	13
10	お子様は、あいさつをよくしている。	94	6
11	お子様は、自ら進んで 学校行事に取り組み、達成感や成就感 を得ている。	84	16
12	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	97	3
13	学校は、 子どもや保護者の相談に親身になって応じている 。	100	0
14	学校には、子ども達の 個性や特性を互いに認め合うあたたかい雰囲気 が漂っている。	87	13
15	学校は、教育の目標を明確にし、特色ある教育活動を行っている。	94	6
16	学校は、 小学校との連携・協力 に積極的に取り組んでいる。	100	0
17	私はPTA活動に積極的に参加している。	88	12
	＜小中一貫に関する質問＞		
18	小・中学校で行っている共通した教育実践や交流活動（合同引き渡し訓練、人権週間、新入生説明会、読書郵便等）は、9年間を見通した小中一貫教育にとっても有意義である。	97	3
19	学校は、 とちぎ未来アシストネット（地域ボランティア）を活用 し、地域との連携を進めている。	100	0
20	お子様は、「ノーメディアデー」及び「睡眠改善ウィーク」の間中は生活改善を意識することができている。	80	20

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。小中一貫に関する項目を含めた20項目のうち「保護者の相談に親身になって応じている」及び「小学校との連携・協力的に積極的」「とちぎ未来アシストネットボランティア活用」の3項目で100%の肯定的な評価、12項目に90%を超える肯定的な評価となり、本校のこれまでの取組に対し高い評価をいただきましたことに感謝申し上げます。

「楽しく学校生活」「教職員の言動や態度」「学校行事に取り組み、達成感や成就感」「個性や特性を互いに認め合うあたたかい雰囲気」に関する項目では、肯定的な回答が90%に至りませんでした。今回の結果を真摯に受け止め、本校で学んでいるすべての生徒が、日常の授業や学校行事の中で、それぞれの個性や特性を認め合いながら、自分らしさを発揮して達成感や充実感を得ることで、楽しく学校生活を送れるよう、全教職員で取り組んで参ります。

未来のために夢をもって踏み出せ一步！ 2年立志スキー宿泊学習

2月2日（金）～3日（土）の一泊二日、日光湯元で2年生の立志スキー宿泊学習を実施しました。今年は1月の雪が少なく心配されたスキーも天候にも恵まれて、初めての生徒もスキー体験を大自然の中で楽しむことができました。夕食後に行った立志式では、**今まで支えてくれた周囲の人への感謝の気持ちを胸に誓いの言葉を堂々と発表し、自立に向けた一步を踏み出すことができました。**



先生も一緒に百人一首で歓声 ～百人一首大会

1月11日（木）熊倉様、榎田様にご協力いただき、全校生徒に教職員も加わり、百人一首大会を行いました。朝の学習の時間に定期的にご指導いただいていた成果により、**集中した雰囲気の中にも、札が少なくなるにつれ歓声も上がり楽しい交流の時間**となりました。



いくつ正解？給食の豆知識 ～給食委員会集会

1月24日（水）に給食委員会集会が行われました。給食委員会による「食事のマナーについて」の発表を聞いたり、寺尾小学校の大竹礼子栄養教諭の「給食についての豆知識クイズ」に答えたりしながら、生徒たちは、**食事のマナーや給食に関する知識を深め、栄養豊富でおいしい給食を食べられることへの感謝の気持ち**を新たにしていました。



高校生からプログラミングを学ぶ ～栃木工業出前授業



1月15日（月）6校時に栃木工業高校から担当の先生と7名の生徒が来校し、独自に制作したプログラミング学習のためのスカイベリージャムキットを使って、出前授業を行ってくれました。生徒たちは、高校生の丁寧な説明と個別のアドバイスを聞きながら**プログラムを入力して、ロボットを動かす体験を通して、プログラミングについて学ぶ**ことができました。